

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地

TEL (0857) 38-9500 FAX (0857) 38-9577

<http://www.totirengonet.or.jp>

印刷所 日ノ丸印刷株式会社



大井手用水路(河原五枚樋)

目

次

○「水土里ネットとっとり 第64回通常総会」を開催	2~3
○災害発生時における農地・農業用施設の復旧支援に関する協定 調印式	4
○「全国土地改良功労者等表彰式」を開催	5
○「令和2年度 多面的機能支払研修会」を開催	6
○「令和2年度 換地関係業務研修会」を開催	7
○令和2年度 本会職員の資格取得	8
○令和3年度 本会の組織体制及び職員人事異動	8~9
○令和3年度 新規採用職員の紹介	10
○土地改良相談 Q & A	11
○会員情報	11
[シリーズ]	
○あつまれ、 <small>みどり</small> 水土里のなかまたち	12
○編集後記	12

「水土里ネットとっとり 第64回通常総会」を開催



令和3年2月24日(水)新型コロナウイルス感染予防のため席数の多い「ハワイアロハホール(大ホール)」を会場に、鳥取県土地改良事業団体連合会第64回通常総会を開催しました。

榎本武利会長の開会挨拶に続いて、来賓の中国四国農政局塩屋俊一局長(代理:中国四国農政局鳥取県拠点小菅一也地方参事官)と鳥取県農林水産部西尾博之部長(代理:鈴木仁次長)、また、進藤金日子参議院議員(ビデオメッセージ)よりご祝辞を頂いた後、議事に入りました。

智頭町 金兒英夫町長を議長に選出した後、10議案について慎重に審議され、原案どおり可決されました。又、通常総会前に、土地改良功労者表彰(13名)が執り行われました。

《提出議案》

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 第1号議案 | 定款の一部改正について |
| 第2号議案 | 令和元年度事業報告、貸借対照表、会計収支決算並びに財産目録について |
| 第3号議案 | 令和2年度会計収支補正予算について |
| 第4号議案 | 令和3年度事業計画について |
| 第5号議案 | 令和3年度会計収支予算について |
| 第6号議案 | 令和3年度賦課金徴収の方法及び時期について |
| 第7号議案 | 金銭の預入先について |
| 第8号議案 | 一時借入金の借入について |
| 第9号議案 | 役員報酬について |
| 第10号議案 | 役員選任について |



議長 金兒英夫 智頭町長



決議朗読 米村佳祐 技師

【決議】

- 一、農業の競争力強化や国土強靱化を図るため、農地や農業用施設の整備・保全等、鳥取県の農業農村整備事業を安定的かつ計画的に事業執行ができるよう、十分な予算を確保すること。
- 一、災害で被災した農地・農業用施設の復旧を早急に進めること。その際は、原形復旧に止まらず、再度災害防止の措置を講じること。
- 一、ため池工事特措法に基づき、工事に関する技術的な指導と財政上の措置を講じ、農業用ため池の防災対策をソフト・ハード両面にわたって集中的に推進すること。
- 一、改正土地改良法の適切な運用を図るため、土地改良区の声に真摯に耳を傾け、引き続き、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。
- 一、農村協働力の維持と農地・水路・農道等の地域資源の質的向上を図る活動や流域治水による田んぼダムへの取り組みとして期待される多面的機能支払交付金の十分な予算確保をすること。
- 一、将来にわたって必要な農業土木技術者の確保と育成を行うとともに、農業農村整備事業の推進にあたっては、水土里ネットが有する技術や経験を十分発揮できるよう配慮すること。

第60回 土地改良功労者表彰名簿

氏名	役職名
村上 力	秋里江津土地改良区 理事
橋本 唯照	大井手土地改良区 事務局長
長田 雅文	久米ヶ原土地改良区 筆頭理事
山崎 巖	富海土地改良区(前) 副理事長
涌嶋 勝利	大原土地改良区 理事
福井 孝幸	東伯町土地改良区 理事
美田 克彦	大倉土地改良区 総括監事
土井 繁美	仙津土地改良区 理事長
松本 克博	米川土地改良区 理事
小林 利夫	米子市尚徳三ヶ堰土地改良区 副理事長
佐藤 信彦	米子市四ヶ村堰土地改良区 理事長
東田 哲和	西部土地改良区 理事
金田 一男	稲光井手土地改良区 理事

鳥取県土地改良事業団体連合会 役員名簿

【理事】

任期:令和3年4月1日~令和6年3月31日

役職	氏名	
会長	榎本 武利	学識経験者
副会長	宮脇 正道	湯梨浜町長
副会長	天島 清憲	中山町畑地土地改良区理事長
常務理事	中村 均	学識経験者
理事	深澤 義彦	鳥取市長
理事	西垣 英彦	岩美町長
理事	吉田 英人	八頭町長
理事	湯邨 勳	福部土地改良区理事長
理事	山崎 正美	関金土地改良区理事長
理事	小谷 俊一	久米ヶ原土地改良区理事長
理事	井中 信一	大栄町土地改良区理事長
理事	陶山 清孝	南部町長
理事	竹口 大紀	大山町長
理事	田邊 雄一	箕蚊屋土地改良区理事長

【監事】

役職	氏名	
代表監事	渡邊 柁城	淀江宇田川地区土地改良区理事長
監事	中嶋 一夫	大井手土地改良区理事長
監事	小松 弘明	琴浦町長

災害発生時における農地・農業用施設の 復旧支援に関する協定 調印式



琴浦町と調印式



4町(岩美町、八頭町、若桜町、智頭町)
合同の調印式

令和2年12月24日(木)、琴浦町役場本庁舎において、災害発生時における農地・農業用施設の復旧支援に関する協定を琴浦町と本会で締結しました。協定締結に際して、琴浦町の小松弘明町長は、「平成30年の豪雨災害時には、町内で約600ヶ所が被災した。この協定を結ぶことで、災害査定の基本となる測量設計を支援して頂けることになり、大変心強い。」と挨拶されました。又、本会の榎本武利会長は、「市町村も人手不足などの問題で災害対応に限界があると思いますので、我々ができる限り協力させて頂きたい。」と支援することを伝えました。

また、令和3年1月21日(木)、岩美町役場に於いて、東部の4町(岩美町、八頭町、若桜町、智頭町)と本会が合同で協定を締結しました。鳥取県東部町村会長の吉田英人八頭町長は、趣旨説明で「皆さんご承知のとおり、近年、災害が頻発していますが町においては、技術的な専門職もない状況です。災害と言えば、測量・設計・

積算となるわけですが、この度、県土連と協定を締結することで、行政として心強く思っています。県土連は、農地、農業施設のプロパーであり、県内ではすでに締結している町もあるように聞いており、この度、4町揃って締結させて頂くことになりました。」と挨拶されました。その後、協定書の署名が行われ、引き続き、出席者である各町長から挨拶がありました。また、榎本会長は、「すでに農業集落排水施設については、施設がある市町について、協定を締結しているところですが、農地、農業施設の災害復旧の協定に関しては、現在5町となっており、この度の協定で9町となります。本会においては、県内の災害以外でも大分県など県外の災害復旧も行っています。本会は、ほ場整備事業等で培った技術力で、いち早く支援する活動を行うこととなります。持つ力を最大限に発揮して災害復旧に取り組むことをお約束いたします。」と挨拶しました。

<昨年度までに協定済みの市町村>

・三朝町 ・北栄町 ・湯梨浜町 ・伯耆町

『全国土地改良功労者等表彰式』を開催



第62回全国土地改良功労者等表彰
団体の部〔全土連会長表彰〕

令和3年4月5日(月)「全国土地改良功労者等表彰式」を土地改良会館において開催しました。

表彰式には、本会から榎本武利会長、中村均常務理事、団体受賞者の大山山麓地区土地改良区連合(徳永健理事長ほか3名)と個人受賞者の小谷俊一久米ヶ原土地改良区理事長が出席されました。

本来であれば、全国土地改良大会(群馬)、全土連総会(東京)において表彰を予定されていましたが、コロナの影響で榎本会長による表彰状授与となりました。

団体表彰の大山山麓地区土地改良区連合は、県営畑地帯総合整備事業等により造成された、畑かん施

設の管理を行っており、下蚊屋ダム、また、パイプライン及びその関連施設を適切に操作・管理され、畑かん用水の安定供給に努められています。さらに、平成27年度より施設の管理費軽減のため、下蚊屋ダムの放流水を活用した小水力発電所を適切かつ効率的に管理運営されています。

また、個人表彰の久米ヶ原土地改良区小谷理事長は、土地改良事業の推進ならびに土地改良区等の運営に著しく功績があったと認められ、受賞されました。



令和2年度全国土地改良事業功績者表彰
〔全土連会長表彰〕



受賞者・受賞団体の皆さん



「令和2年度多面的機能支払研修会」を開催



榎本会長の挨拶

令和3年1月27日(水)ハワイアロハホール(湯梨浜町)において、令和2年度多面的機能支払研修会(主催:鳥取県農地・水・環境保全協議会、鳥取県)が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため人数制限して開催されました。

開会にあたり、鳥取県農地・水・環境保全協議会 榎本武利会長は「令和2年度の活動組織数は、高齢化、役員の成り手不足等により、679組織となりました。また、本年度からラジコン草刈機の貸出を始めました。今後も協議会として、いろいろ支援をしていきたい。」と挨拶がありました。

講演では、最初に、中国四国農政局農地整備課多面的機能支払推進室 楠瀬正敏室長から「多面的機能支払の制度改正・他県の動向等」と題して講演がありました。次に、鳥取県農地・水保全課大坪宏文農林技師から「多面的機能支払交付金の推進に向けて」と題して講演がありました。そして、鳥取県農地・水・環境保全協議会 山本光俊事務局員から「ラジコン草刈機の活用について」と題して講演がありました。

休憩後には、大山町宮内保全会、琴浦町出上農地・水保全活動組織、日南町多里広域協定の事例発表がありました。



中国四国農政局 楠瀬室長



大山町宮内保全会



琴浦町出上農地・水保全活動組織



日南町多里広域協定

「令和2年度換地関係業務研修会」を開催



開会挨拶 坂本親雄課長

令和3年2月19日(金)水明荘(湯梨浜町)において、『令和2年度換地関係業務研修会(新規担当者研修、換地計画実務研修、換地委員等実務研修)』を参加者30名で開催しました。

開会にあたり、水土里ネットとっとり坂本親雄会員支援課長から「農業競争力強化基盤整備事業及び農地中間管理機構関連農地整備事業などのほ場整備事業が近年出てきています。県土連には、多数の換地技術者がいますが、やはり、地区を担当して実際に進めていくことによって、換地技術の継承ができていきます。

又、県市町の担当者の方にも換地を知っていただくことにより、スムーズに事業を進めることができると考えています。」と挨拶があり、その後研修に入りました。

最初に、実際の地区での換地業務の流れについて、水土里ネットとっとり津中孝土地改良換地士から講義がありました。講義では、K地区を例として事業採択の1年目から最終年までに行う換地業務について作業内容と留意点などの説明がありました。

続いて、鳥取地方法務局 藤原研治総括表示登記専門官から嘱託登記について講義がありました。講師からは、登記には、表示に関する登記と権利に関する登記があること。土地改良法第114条第1項の代位原因により、土地改良事業施行者からの分筆登記申請(嘱託)ができること及び添付書類などの説明がありました。また、相続登記、表題部所有者不明土地についての情報提供がありました。

最後に、土地評価・清算について、水土里ネットとっとり石川悟土地改良換地士から講義がありました。講義の中で、土地調査表を基に評価を行い、従前と換地の評価を行うこと。その後、換地交付基準額の算出、清算の方法等の説明があり、換地清算金の計算の仕方の演習がありました。



津中孝土地改良換地士



藤原研治総括表示登記専門官



石川悟土地改良換地士

研修終了後のアンケートでは、「演習がありよかった。」、「実際の地区での換地業務の流れの事例で、実際の実施時期は記載がありましたが、望ましい時期の記載があればよかったです。」などの意見を頂き、今後の研修の参考とさせていただきます。

令和2年度 本会職員の資格取得

資格名	所 属	氏 名
土地改良換地士	岩美町(派遣)	藤原和之
//	米子事務所	藤原剛司
技術士補	会員支援課	山本光俊
//	技術管理課	伊良皆桜
農業土木技術管理士	倉吉事務所	柏木大作
会計指導員	//	//
補償業務管理士(土地調査)	米子事務所	石川悟

令和3年度 本会の組織体制及び職員人事異動

1. 組織体制

令和3年度は、役員改選による理事14人、監事3人の計17人の役員と、2部（総務部、事業部）、農業土木技術サポートセンター、4課、3事務所、建築事務所となります。

2. 新たな事業への取組

(1) ため池

「鳥取県ため池サポートセンター」を設置し、県内の重点ため池の調査、防災訓練、データ整備などを実施します。なお、10年間の計画で実施する予定です。

(2) 事務の効率化

事務処理の迅速化及び働き方改革への対応を目的に、電子決裁や勤怠管理システムを導入します。

(3) 安定的運営の検討

安定した運営を目的とした国の予算に左右されない新たな業務の開発、業務改善の企画提案を行います。

3. 異動内容については、下記の職員人事異動表の通りです。

職員人事異動表

【課長補佐の部】

令和3年4月1日発令

氏 名	発 令		旧		備 考
	所 属	職 名	所 属	職 名	
福田 健治	総務企画課	課長補佐	計画設計課	課長補佐	
津中 孝	技術管理課	課長補佐	技術管理課 地籍・換地測量室	室 長	
濱田 智広	技術管理課 地籍・換地測量室	室 長	技術管理課 地籍・換地測量室	係 長	昇 任
山本 恭也	計画設計課	課長補佐	計画設計課	係 長	昇 任
千熊 一弘	倉吉事務所	次 長	倉吉事務所	係 長	昇 任

【係長の部】

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
徳田 享裕	技術管理課 地籍・換地測量室	係長	倉吉事務所	主任	昇任
澤田 賢一	計画設計課	係長	計画設計課	主任	昇任
藤原 和之	倉吉事務所	係長	岩美町		派遣解除

【主任以下の部】

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
渡邊 忠直	農業土木技術 サポートセンター	主任	農業土木技術 サポートセンター	技術指導員	
谷岡 和幸	農業土木技術 サポートセンター	主任	会員支援課	支援員	
山崎 速代	総務企画課 (兼)技術管理課	主任	技術管理課 (兼)総務企画課	主任	
山崎 恭子	総務企画課	主任	総務企画課	技術指導員	
福政 美里	会員支援課(兼)総務企画課 (兼)鳥取事務所	主任	総務企画課	技師	昇任
尾崎 俊文	会員支援課 (兼)鳥取事務所	主任	会員支援課	技術指導員	
寺垣 彰二	技術管理課 地籍・換地測量室	主任	技術管理課 地籍・換地測量室	技術指導員	
山本 光俊	計画設計課	主任	会員支援課	技師	昇任
福井健太郎	計画設計課	主任	計画設計課	技師	昇任
井手添 聖	倉吉事務所	主任	計画設計課	技師	昇任
山本 秀延	倉吉事務所	主任	倉吉事務所	技術指導員	
西村 厚子	米子事務所	主任	米子事務所	技術指導員	

【新規採用】

氏名	発令		旧		備考
	所属	職名	所属	職名	
山本 博己	農業土木技術サポートセンター (兼)計画設計課	係長	(鳥取県)		新規採用
山口 祐助	倉吉事務所	主任(支援員)	(鳥取県)		新規採用
安達 淳晴	米子事務所	技師			新規採用

令和3年度 新規採用職員の紹介



農業土木技術
サポートセンター
(計画設計課)係長
やまもと ひろみ
山本 博己

この度、鳥取県土地改良事業団体連合会に採用となりました山本と申します。

3月末に鳥取県を定年退職するまでの約38年間、河川・道路・港湾整備等の土木関係分野を中心に様々な業務経験を積んできましたが、実は学生時代は鳥取大学で農業土木を専攻していたため、今回、農業振興のために働ける機会を与えて頂けたことに感謝しています。

今後、今まで培ってきた経験を活かしつつ、また農業に関する知識をもう一度学び直しながら、皆様のお役にたてるよう頑張っていきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



倉吉事務所
主任(支援員)
やまぐち ひろし
山口 祐助

令和3年度より、鳥取県土地改良事業団体連合会に多面的機能支払に係る支援員として採用になりました、山口祐助と申します。

これまで、鳥取県職員として、新規就農者の確保・支援や地域づくりに携わってきたところです。

これからは、地域や担い手の方々が支え合いながら生き生きと農業の生産活動をされ、これまで以上に住みやすく魅力的な農業・農村になりますよう、微力ではありますが貢献して参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



米子事務所
技師
あだち じゅんせい
安達 淳晴

今年度より、鳥取県土地改良区事業団体連合会に採用となりました、安達淳晴と申します。

高校では土木や測量に関する知識や技術を学んでいたのですが、それを生かせる仕事に就きたいと考えていました。そんな時、地域の方々のためにサポートを行っている土地改良連合会の存在を知り、私も、ここで地域の方々のために働きたいと思うようになりました。

この仕事を通じて、農村の整備や地域の発展に微力ながら貢献していきたいです。皆さんの足を引っ張るかもしれませんが、1秒でも早くこの仕事に慣れていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

土地改良相談 Q&A

「土地改良区の賦課金に係る督促と時効」について

Q (質問)

土地改良区が組合員から徴収する賦課金の時効について、督促はどのような効力を有しますか？

A (回答)

土地改良法第39条第8項（賦課金等の徴収）に「督促は、時効の更新の効力を有する。」と定められています。

よって、滞納者へ督促することにより、それまで経過した時効期間がリセットされ、新たにゼロから時効期間がスタートします。

ただし、この「督促」は1回のみ時効の更新の効力を有します。また、土地改良区が定款で定めている督促状の発行期限（納付期限後60日以内）を過ぎて発行した督促状であっても効力を有します。しかしながら、役員の方の定款遵守義務及び忠実な執行義務に違反することとなります。

そのため、県知事へ滞納処分の認可申請を提出しても認可されないことが懸念されるので、注意が必要です。

会 員 情 報

【理事長の交替】

土地改良区名	新	前	就任日
米川土地改良区	まつおか まさみ 松岡 正躬	すみ つとむ 角 力	令和3年1月21日
邑美土地改良区	たなか いちろう 田中 一郎	かんべ いちろう 神戸 一郎	令和3年1月31日
大口堰土地改良区	はなやま ひでお 花山 英夫	たかみ のりお 高見 則夫 (退任:令和3年1月5日)	令和3年4月 1日
赤碓町土地改良区	いとう ひでゆき 伊藤 英之	いしが しょういち 石賀 昭一	令和3年4月 1日
仙津土地改良区	いとう ひろふみ 伊藤 博史	どい しげみ 土井 繁美	令和3年4月 1日
東伯地区土地改良区連合	いなか しんいち 井中 信一	いしが しょういち 石賀 昭一	令和3年4月 1日
大鴨土地改良区	こだに よしのり 小谷 義則	くろかわ ゆきと 黒川 幸人	令和3年4月 6日



愛と絆のある農業・農村をめざして
みどり
水土里を愛する
なかまたちを順次ご紹介

『宮崎から鳥取へ移住して23年、筋肉と焼酎をこよなく愛する造構男子』

鳥取大学農学部生命環境農学科農業造構学教育研究分野
教授 緒方 英彦 (Ogata Hidehiko)



防寒着を着込んでの北海道の
開水路の現地調査

皆様、初めましての方も多いかと思いますが、鳥取大学農学部の緒方です。専門は、水利施設の建設、維持管理などを主とする水利施設工学になりますが、昔からの分野名としては農業造構学になります。「構造」ではなく「造構」です。ちなみに、この造構の名付け親は忠犬ハチ公の飼い主の上野英三郎先生です。鳥取に来てからの主要な研究テーマは、積雪寒冷地におけるコンクリート構造物の凍害であり、実験室には凍らせる試験機器を揃えて研究をしています。

という私ですが、生まれも育ちも南国宮崎で、平成10年に鳥取に来るまでの27年間は宮崎で過ごして

ました。父親は福岡県久留米市、母親は愛媛県今治市の出身で、妻の実家は福岡県みやこ町、そして長女は徳島、次女は新潟に住んでおり、移動は常に時間がかかるような状態です。鳥取から宮崎まで800kmほど、車で直行すると約10時間かかりますが、途中の500kmのところには妻の実家があるので、義父とお気に入りの源じいの森温泉に行き、一息ついでの移動を楽しんでいます。以前は熊本まわりの九州自動車道を通っていましたが、大分まわりの東九州自動車道が開通したおかげで移動距離、移動時間が少なくなったのはありがたいことです。途中の穴場として、子供が小さい頃はハーモニーランドによく寄っていました。山の中でサンリオキャラクターに囲まれる唯一の場所でお薦めです。

私のキーワードとしては、筋肉、焼酎でしょうか。筋肉の維持には気を付けています。平日、週末、出張中“どんなときも腹筋200回”は徹底しており、腹筋のし過ぎでお腹が出ています。お酒は全般に好きですが、焼酎が一番好きです。最近、新型コロナウイルスの影響で、家飲み、そして研究室ではWEB飲み会ばかりですが、皆様と膝を突き合わせていろいろな話をしながら酒宴できる機会が早く来ることを心待ちにしております。

最後に、県内各地には水源から末端に至る農業水利システムが多くありますが、私がこれまでに視察したことがあるのはその一部です。農業水利システムは同じではなく、それぞれに個性があります。その個性の把握を目指して視察を続けたいと思いますので、その時はどうぞ宜しくお願いいたします。



家飲みで使っている卒業生からの
プレゼントの造構グラス



編集後記

今月号から新シリーズ「あつまれ、水土里のなかまたち」をスタートさせました。農業農村に関心を持っておられる方に、関心ごとや意見、思うこと、経験など何でも結構ですので、投稿して頂ければと考えております。自薦、他薦で、投稿にご協力よろしくお願いします。